

小原鐵心 おのらのこ 漢詩人。文化十四年十一月二日美濃國大垣生れ、明治五年四月十五日歿（二八七―七二）。諱忠寛、字東卿、幼名本太郎、通稱一兵衛。別號是水。大垣藩士。齊藤拙堂の門に入り經史詩文を修める。天保十二年家督を繼ぎ、のち藩政の改革を擔ふ。ペリー來航時公は幕命により藩兵を率ゐて警備、島初次見の戦では藩論を統一して東山道軍の先鋒となり功をたてた。維新後大垣藩大参事。詩文書畫を能くし、梁川星巖、佐久間象山、高島秋帆、大槻磐溪等と親交。

中村規一著『小原鐵心傳』（明治四十二年二月二十一日岐阜・上田書房）刊。